

こんにちは **かわら版** 井出せつおです

発行 日本共産党佐久市議会議員
井出節夫 佐久市臼田 2044-3
2013.12.15 No.128
TEL 82-2736 FAX 82-3000
Blog: <http://econetsaku.blog89.fc2.com/>

12月議会でも答弁の訂正

温水利用型健康運動施設の借入は誰が行なうのですか？

一部事務組合か佐久市単独か

12月定例会の私の一般質問は12月9日に行ないました。新ごみ焼却施設の余熱を利用する計画であった約15億円の「温水利用型健康運動施設」は余熱利用を止め、温泉掘削によることにしました。つまり、ごみ焼却施設とは直接関係がなくなりました。そこで、今度はごみ焼却施設を誘致した地元・平根区への「地元還元施設」となりました。間接的な関係です。

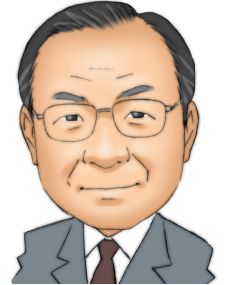
12月定例会では、この施設は「公共が借金をして建設する」とあるが、「公共」とは、新ごみ焼却施設を運営する一部事務組合（佐久市、軽井沢町、立科町）のことか、質問しました。環境部長の答弁はイエスでした。ところが次の質問をしている時、答弁の訂正を申し出て、借金をするのは「佐久市だ」と答弁しました。一体どうなっているのでしょうか。

そこで、平成22年10月の3市町の「基本合意」にある「施設建設地の地元合意形成に伴う条件整備に要する費用は」一部事務組合が負担することになっている項目を指摘しました。今度は、この施設は佐久市で負担する部分と一部事務組合での部分と両方あるとの答弁でした。毎回答弁の訂正があり、どうなっているのでしょうか。（「議会だより」で報告します。）

平尾山公園は112万kW消費 佐久市役所本庁舎でさえ、86万KW

平根発電所は毎日500KWの発電能力があります。23年度は年間270万KW発電しました。平尾山公園に112万KW使われ、残りを売電しています。市役所の年間消費電力量は23年度は86万7500KWですから、いかに多量かわかります。平尾山公園のどの施設で何に使っているのか質問しました。センターハウスやエスカレーター、昆虫体験学習館ということですが、納得いきません。今後の課題として残りました。

12月1日午前8時5分父が息を引き取りました。11月6日の朝に脳梗塞で入院し、加療中でしたが再び会話することはできませんでした。肉親の死は初めての経験ですので未だ「おーい帰ったぞ」と突然現れるのではないかと錯覚します。



父は18歳で両親を亡くし家督相続、間もなく召集され、満州からトラック諸島へと激戦地で生き抜いて帰還しました。この戦争体験が晩年まで尾を引いていました。2006年5月に弟の提案で私と息子、弟夫婦とでトラック諸島を訪れました。春島から秋島そして司令部のあった夏島と訪問しました。懐かしい記憶がよみがえったようでした。2010年、戦争体験を映像で記録する会の呼びかけに応え戦争体験を語り始めました。二度と再びこのような悲惨な戦争を繰り返してはならない。これが遺訓でした。お世話になりました。

折しも12月6日特定秘密保護法が強行採決されました。国民の言論を封じ込め、政府の手によって再び戦争への道を歩もうとする動きが早まっています。断じて許すわけにはいきません。がんばりましょう。

比田井天来・小琴
顕彰佐久全国臨
書展開催
11・23



講評を行なう審査員・美術館にて

当面の日程

- 12月16日 常任委員会開催
- 12月18日 うすだ町づくり住民説明会
- 12月19日 12月定例会閉会
- 12月27日 正副議長であいさつ周り
- 1月3日 佐久市民スケート大会